

# 令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 青葉 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

#### (2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

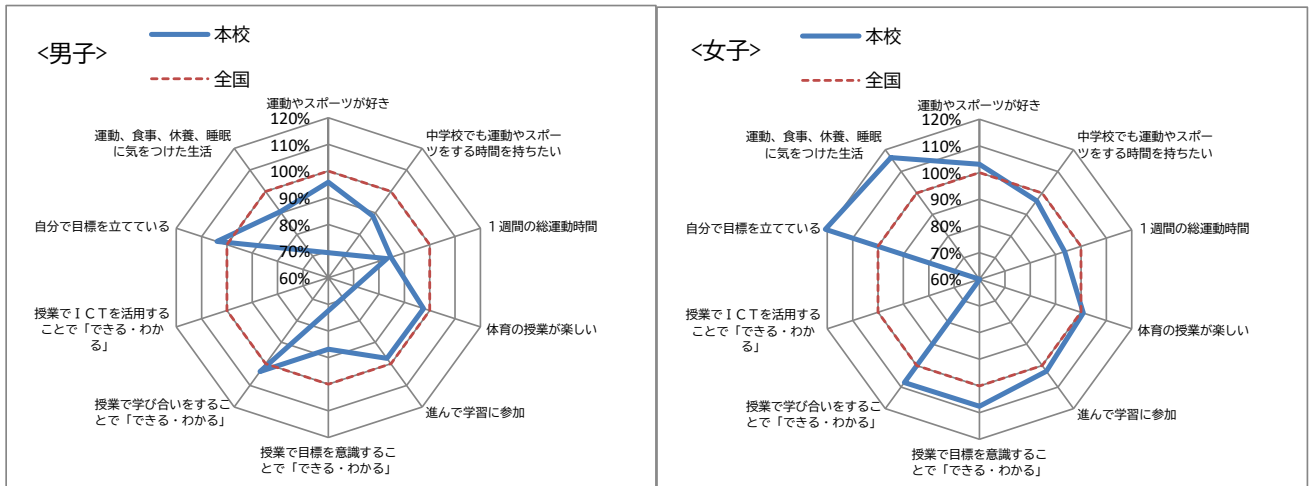
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○	○	○		○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査レーダーチャート



#### 質問調査の結果分析

男女ともに、休み時間や放課後に外遊びに出たり、運動クラブに所属する児童と室内遊びをする児童の差が大きい。日常生活の中で活発に運動に親しむ児童とそうでない児童の差があることが、グラフの偏りに起因していると考えられる。運動習慣や生活習慣については、ICTの活用や授業での達成感を感じさせることで、運動好きの児童を育てていきたい。また、学習の中で自分で目標を立てさせたり、教えあいの場面を設定することで、運動に対する有能感を味わわせたい。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

学習導入時の準備運動を入念に行う。単元の内容に即した類似運動を取り入れ、主運動につなげて課題解決に結び付けやすく授業を構成する。課題解決のためのスモールステップを数多く設け、児童が達成感を感じることのできるようにしていく。また、ICTを活用し、モデルとする動きや自分の動きを客観的に見ることができるようにし、課題解決につなげていく。

#### ② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

いきいきスポーツ週間（大縄跳び大会・2週間）、体育委員会が主体となり全校への呼びかけで、楽しく動く機会を作る。運動委員会の常時活動で、外遊びへの呼びかけやポスターなど、運動に親しみやすい雰囲気づくりや健康への留意など、児童の意識を高める活動を行っていく。